

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真 1) (表 1) などと文中に記載し、右ページに(写真 1) (表 1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

エントリー学校名：

山梨県 甲州市立塩山南小学校

活動名：

主タイトル ふるさと甲州市の魅力発見

副タイトル 地域と共に歩む学校プロジェクト

解決すべき課題：

- ・地域の歴史や文化を知る機会があまり設定しておらず、地域と学校との距離が存在した。
- ・総合的な学習の時間の内容が地域に関連した内容が少なく、系統性が希薄であった。

目標・方針：

・ふるさとの魅力を発見し、地域を誇りに思い、将来を通じてよさを発信できる児童を育成していくことをめざした。まずは、地域の伝統文化を教職員全員でフィールドワークや地域資料から洗い出した。チーム学校として学校全体からみて、各学年の発達段階と教育課程との関連性から、探究課題を設定。各教科との関連シートを作成し、1 学年、1 テーマの大きなストーリーとなる総合の単元構成を考え、単元シートの作成を構想した。

活動内容：

- ・フィールドワークや地域資料集めから塩山南小学校の総合的な学習の時間に合う内容を検討・精選した。
- ・校内研修を核としてチーム学校として 1 年間かけて、各教科との関連性を探り、どんな資質・能力の育成が期待できるのか検討し、教科関連シートを作成した。
- ・1 学年 1 テーマとなる総合的な学習の時間となるようカリキュラム・マネジメントを通じて、大テーマ 1 つに小テーマ 2 つか 3 つとなる探究的な過程を設定し、児童が主体的に探究活動できるような単元シートを作成した。
- ・外的・物的資源の活用ができるよう地域の人材バンクの作成と郷土資料副読本の作成を行った。

活動の成果： チーム学校として生活科と総合的な学習の時間のカリキュラム・マネジメントを行った結果、合わせて 6 年間を通した系統性のある地域の魅力を発見する教育課程となった。総合を中核とした他教科の教育課程も作成することができた。「主体的・対話的で深い学び」の実現につながっていった。具体的には、児童自ら、親を巻き込んで市役所や図書館、郷土資料館など地域の施設などに足を運ぶ機会が増えた。また、大きな成果として「ふるさと甲州市」歴史副読本を作成することができた。児童・生徒が理解できる文言で甲州市の縄文時代から現在までの歴史や伝統文化がわかる内容の資料を作成した。この本を本校ばかりでなく、甲州市の全ての小中学校の 6 年生児童と中学生に配布した。また、すべての学校図書館や公立図書館でも配備した。これにより本校ばかりでなく、甲州市全体に甲州市の歴史や伝統文化など「地域をより広く、より深く 発見」する機会をつくることができた。また、児童・生徒ばかりでなく地域の方々からも「地域のことがわかり、すばらしい。」「ぜひその本がほしい。」「はじめて知ることばかりでおどろいた。」などの声が多く聞かれた。

コロナ禍で遠出ができない状況だからこそ、足元にある地域をより深く知り、魅力を感じるきっかけとなったと思われる。さらに地域の歴史や伝統文化などを知ってもらうため、ふるさと甲州市副読本をさらに発展させて、地域の児童や生徒、地域住民が気軽に学習してもらえるよう地域の放送局と連携して、ふるさと甲州市の番組作成と放送を現在行っている。将来的に DVD にして映像資料として図書室・図書館に配備する予定である。

アピールポイント（アイデアや工夫）： ※3～5 つ程度、箇条書きしてください。

- ・地域の歴史や伝統文化などを学ぶ総合と各教科との関連を 1 枚シートにまとめて系統性をもたせた。
- ・6 年間の系統性と探究的な活動ができる総合的な学習の単元シートを作成した。
- ・地域がわかる「歴史と伝統文化」副読本を作成し、甲州市の小学校・中学校全体に波及できた。
- ・ふるさと甲州市副読本と地域の放送番組により児童・生徒、地域住民の方々にも地域の魅力を広めている。



ふるさと甲州市



令和 2 年 3 月 甲州市教育委員会

(写真 1) 塩山南小学校が作成・甲州市教育委員会が監修し、完成した歴史副読本「ふるさと甲州市」。地域の歴史や伝統文化を掲載。ぶどう・もも・ワインなどの産業や地域の歴史、伝統文化などその魅力を掲載した。総合的な学習の時間や社会科で児童・生徒が探究できる。



(写真 2) 地域の放送局（峡東 CATV）を利用して、作成した「ふるさと甲州市」番組を家庭で視聴する児童・生徒

(図 1) 解決までの流れ

